

2025（令和7）年8月5日
報道発表資料[本リリース発信元]ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

＜ロームシアター京都10周年記念事業＞

ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団
'Sweet Mambo'
スウィート・マンボ
A piece by Pina Bausch



Photo: Karl-Heinz Krauskopf

愛する人々への惜別の歌——

ピナ・バウシュ最晩年の作品を、最愛のダンサーたちが踊り継ぐ

2025年11月21日（金）19:00開演／11月22日（土）15:00開演

ロームシアター京都 メインホール

演出・振付：ピナ・バウシュ[第23回（2007）京都賞 思想・芸術部門受賞]

出演：ヴッパタール舞踊団

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団） 広報担当：山本、儀三武、寺田

電話：075-771-6051（10：00～17：00） FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

日本初上演作品で32年ぶりとなる待望の京都公演決定！

ダンスと演劇が共生する＜タンツテアター＞の手法により、20世紀のダンス・演劇を変えた振付家、ピナ・バウシュ。京都では実に32年ぶりとなるヴッパタール舞踊団が今回お届けするのは、2009年に急逝したピナによる最晩年の作品『Sweet Mambo』。本作の最大の魅力は、舞踊団の初期からピナと共に年月を過ごしてきたダンサーたちの存在である。初演時のダンサーたちが集い、年齢を重ね円熟したダンサーならではの表現で作品を現代へと繋いでいく。

2008年初演の本作は、ピナ・バウシュ没後初めてヴッパタール舞踊団に新作^{*1}を振り付けたアラン・ルシアン・オイエンをアーティスティック・ディレクションに迎えて2022年にドイツで再演。オイエンは再演にあたり、ピナが『Sweet Mambo』の創作過程においてダンサーたちに質問した内容をもう一度彼らに投げかけたという。ピナ亡き後も彼女の遺志を踊り継ぐ初演時のダンサーたち（再演にあたり、一部出演者の入れ替わりあり）が、オイエンと共にピナからの問いと再び向き合い、初演から14年の時を経て蘇った本作。これまで日本で上演されることのなかったピナの最晩年の作品が、いよいよ今秋、日本初上演を迎える。

歓びや渴望、誘惑、失望、悲しみ、そして優しさ。舞台上で何度か発せられる「忘れないで」という言葉。ピナからダンサーたちへの、そしてダンサーたちからピナへの惜別の歌のような、温かな愛に溢れたステージをお見逃しなく。

^{*1}（『Bon Voyage, Bob』2018年初演）



Photo: Karl-Heinz Krauskopf



Photo: Evangelos Rodoulis

●舞台評

「ピナはもはやここにはいない。にもかかわらず、ヴッパタール舞踊団のダンサーたちの目、声、そして心の中に、彼女は存在している」

—— 英・ガーディアン紙 ★★★★★

「笑いの丘、悲しみの谷、怒りの急流、そして恐れのある森。それは私たちが生きるこの世界そのものであり、人生の不条理や、人と人とのつながりへの渴望が、濃密に描かれている。

優雅で、どこか哀しく、美しい。ヴッパタール舞踊団とピナ・バウシュの傑作」

—— ジ・アーツデスク（ウェブ）

「ダンサーたちは風に揺れるカーテンの雲のように軽やかに舞い、まるでヘリウムを燃料にしているかのようだ。皆それぞれ自身の物語を踊る。ピナ・バウシュはまるで東洋の語り部のように、それらの物語を巧みに編み上げていく。シャウシュピールハウスを後にする時、あなたは微笑んでいるだろう。まるでペーター・パプストの舞台美術があなたを「夢心地」へ誘ったかのように」

—— タンツネッツ（ウェブ）



Photo: Ulli Weiss ©Pina Bausch Foundation



Photo: Oliver Look

ピナ・バウシュ Pina Bausch



Photo: Wilfried Krüger

1940年ドイツ生まれ。 Folkwang 芸術学校でクルト・ヨースに舞踊を学んだ後、1968年に処女作『フラグメント』を発表。1971年 ヴッパタール・バレエ団に振付家として招かれ、1973年芸術監督に就任。同団の名称を「ヴッパタール舞踊団(タンツテアター・ヴッパタール)」に改称し、ダンスと演劇との既成の概念を超えた斬新かつ衝撃的な話題作を次々に発表する。代表作として『春の祭典』、『カフェ・ミュラー』、『コンタクトホーフ』など、舞踊表現の多様性、可能性であらゆる世代の振付家に影響を与えた。「舞踊と演劇の境界線を打破し、舞台芸術の新たな方向性を示した振付家」として第23回(2007)京都賞 思想・芸術部門を受賞。2009年没。

ヴッパタール舞踊団 Tanztheater Wuppertal Pina Bausch

各国のダンサーで構成されるヴッパタール舞踊団は1973年にピナ・バウシュが芸術監督に就任後、ダンスと演劇が共生する「タンツテアター」により世界に広く知られ、数々の国や都市と数多くの国際共同製作を行うなど、舞台芸術界に多大な影響をあたえた。ピナ・バウシュ逝去後も舞踊団は遺志を継ぎ精力的に活動を続け、新たな作品を創作・上演している。1986年初来日公演ツアー『コンタクトホーフ』に続き、『カーネーション Nelken』(1989年)、『山の上で叫び声が聞こえた』(1993年)を京都会館第2ホールで上演。『Sweet Mambo』は32年ぶりの京都公演となる。

■公演情報

公演名:

ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団『Sweet Mambo』

‘Sweet Mambo’ A piece by Pina Bausch

日時: 2025年11月21日(金)19:00開演、11月22日(土)15:00開演

会場: ロームシアター京都 メインホール

上演時間: 約2時間20分(休憩20分含む)

キャスト・スタッフ

演出・振付: ピナ・バウシュ

出演: ヴッパタール舞踊団

アンドレイ・ベレツィン、ナオミ・ブリトー、ナヨン・キム、ダフニス・コッキノス、

レジナルド・ルフェーブル／アレクサンダー・ロベス・グエラ、エレーナ・ピコン*、

ナザレット・パナデロ*、ジュリー・シャナハン、ジュリー・アン・スタンザック、

アイダ・ヴァイニエリ *ゲストダンサー 下線: 初演ダンサー

舞台美術: ペーター・パプスト 衣裳: マリオン・スイートー

[再演] アーティスティック・ディレクション: アラン・ルシアン・オイエン

リハーサル・ディレクター: 瀬山亜津咲、ロベルト・シュトゥルム

世界初演: 2008年5月30日 シャウシュピールハウス(ヴッパタール・ドイツ)

再演: 2022年5月26日 ヴッパタール歌劇場(ヴッパタール・ドイツ)

■チケット情報 -発売中-

S席:12,000円/会員特別価格10,800円

A席:8,000円/会員特別価格7,200円

S席25歳以下:5,000円

18歳以下:無料(放課後かんげきプログラムより要事前申込)

クラウド・ゲイト・ダンスシアター(雲門舞集)『WAVES』(12/17)とのセット券:15,000円(S席)

- ・未就学児入場不可
- ・託児サービスあり(要事前予約)詳細は公演ページよりご確認ください。
- ・会員特別価格の詳細はこちら <https://rohmtheatrekyoto.jp/supporter/>

放課後かんげきプログラム 18歳以下のみなさまを無料で演劇公演にご招待!

ダンスや舞台を見たことがない人も大歓迎。このチャンスに、世界トップレベルのパフォーマンスを体感してください。詳細はこちら <https://rohmtheatrekyoto.jp/join/138406/>

チケット取扱

◎オンラインチケット 24 時間購入可 ※要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

◎ ロームシアター京都チケットカウンター 窓口・電話 TEL.075-746-3201

(10:00~17:00、年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)

◎ 京都コンサートホールチケットカウンター 窓口・電話 TEL.075-711-3231

(10:00~17:00、第1・3月曜休 ※祝日の場合は翌日)

◎チケットぴあ <https://t.pia.jp> Pコード:535-433

◎イープラス <https://eplus.jp/>

■問合せ先 ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201

公演WEBページ:<https://rohmtheatrekyoto.jp/event/134435/>

■スペシャルワークショップ

本公演関連企画として、ダンスワークショップを実施します。

講師:瀬山亜津咲

日程:11月23日(日)

①11:00~ ダンス未経験者/初心者向け

②15:00~ ダンス初中級者向け

場所:ロームシアター京都 ノースホール

申込:9月から申込開始予定

■クレジット

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

特別協賛:公益財団法人稲盛財団

共同招聘:公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団(彩の国さいたま芸術劇場)

助成:

文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

後援:ドイツ連邦共和国総領事館、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

■他地域での公演

11月27日(木)~30日(日) 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

<https://www.saf.or.jp/arthall/stages/detail/104660/>

■ロームシアター京都10周年記念事業



多彩な事業をお届けし、皆様とともに京都から「劇場文化」を育んできたロームシアター京都は、2026年1月10日に10周年を迎えます。たくさんの「ありがとう」と、これからの「わくわく」を共有する特別なラインアップをどうぞお楽しみください。

【記念事業実施期間:2025年10月31日～2026年12月31日】

<チケット発売中の10周年記念事業>

ダミアン・ジャレ×名和晃平『Planet[wanderer]』



世界で脚光を浴びる振付家ダミアン・ジャレと
京都発の彫刻家名和晃平によるコラボレーション

【日時】11月8日(土)19:00～、9日(日)15:00～

【会場】ロームシアター京都 サウスホール

<https://rohmtheatrekyoto.jp/event/133684/>

クラウド・ゲイト・ダンスシアター(雲門舞集)『WAVES』



鄭宗龍(チェン・ゾンロン)×真鍋大度
ダンスとテクノロジーの交差点！

【日時】12月17日(水)19:00～

【会場】ロームシアター京都 メインホール

<https://rohmtheatrekyoto.jp/event/134425/>

他にも多くのプログラムを予定しています。

詳細はロームシアター京都オフィシャルサイトをご覧ください。

<https://rohmtheatrekyoto.jp/program/season2025/>